

みずほCustomer Desk Report 2018/03/05号(As of 2018/03/02)

国際為替部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	106.18	1.2272	130.29	1.3773	0.7763
SYD-NY High	106.29	1.2336	130.43	1.3816	0.7775
SYD-NY Low	105.24	1.2252	129.57	1.3757	0.7738
NY 5:00 PM	105.74	1.2319	130.28	1.3803	0.7766
NY DOW	24,538.06	▲ 70.92	日本2年債	-0.1600	0.00bp
NASDAQ	7,257.87	77.31	日本10年債	0.0700	3.00bp
S&P	2,691.25	13.58	米国2年債	2.2439	2.81bp
日経平均	21,181.64	▲ 542.83	米国5年債	2.6309	4.70bp
TOPIX	1,708.34	▲ 31.86	米国10年債	2.8670	5.65bp
シゴ日経先物	21,125	5.00	独10年債	0.6465	0.70bp
ロンドンFT	7,069.90	▲ 105.74	英10年債	1.4710	0.60bp
DAX	11,913.71	0.00	豪10年債	2.7095	▲ 1.95bp
ハンセン指数	30,583.45	▲ 460.80	USDJPY 1M Vol	9.13	0.49%
上海総合	3,254.53	▲ 19.23	USDJPY 3M Vol	9.06	0.34%
NY金	1,323.40	18.20	USDJPY 6M Vol	9.14	0.38%
WTI	61.25	0.26	USDJPY 1M 25RR	-1.58	Yen Call Over
CRB指数	194.12	0.17	EURJPY 3M Vol	9.38	0.13%
ドルインデックス	89.94	▲ 0.39	EURJPY 6M Vol	9.48	0.25%

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
3月2日	日	黒田日銀総裁「出口をそのころ(2019年度ごろ)検討するようにするのは間違いない」 「2%実現まで、短期・長期金利目標いっさい変わらないわけでない」		
3月3日	0:00	米 ミシガン大消費者マインド	2月 99.7	99.5

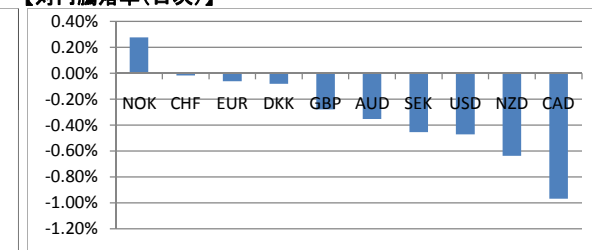
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
3月5日	-	中 全国人民代表大会(北京)		
3月5日	10:45	中 財新・サービス業PMI	2月 54.3	54.7
	18:00	欧 マークイット・サービス業PMI	2月 56.7	56.7
	19:00	欧 小売売上高(前月比/前年比)	2月 -0.1%/2.0%	-1.1%/1.9%
3月6日	0:00	米 ISM非製造業景況指数	2月 59.0	59.9
	3:15	米 クォールズFRB金融規制副議長講演		

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	105.20—106.20	1.2330—1.2380	130.00—130.80

【マーケット・インプレッション】

先週末の海外時間のドル/円相場は「上値の重い展開」。トランプ米大統領の鉄鋼・アルミニウムの輸入関税賦課の方針に対し、欧州連合(EU)の報復措置が伝えられたことからマーケットのセンチメントが冷やされた。結局、市場参加者の様子見姿勢が強く、上値の重い中、方向感に欠ける展開となった。本日は「(引き続き)動意薄の展開」を予想。世界的な貿易戦争が意識される中、積極的な売買は手控えられよう。方向感に欠ける中、上値の重さが意識される展開を予想。

東京	ドル円は106.18で東京オープン。トランプ大統領が鉄鋼・アルミに対する関税適用を表明したことを受けた米株安の流れを引き継ぎ、日経平均は300円超安で寄り付き下落幅を拡大させたものの、ドル円に対する反応は限定的。しかし、アジア株も全面安となる中、仲値通過後は買い戻し圧力が強まり、ドル円は一時106.29を割り込んだ。前場600円超安で引けた日経平均が後場に入って切り返す動きに106.10台まで戻すが、衆議院運営委員会で行った所信表明にて黒田日銀総裁が「(物価2%程度に達するとみている)19年度ごろに出口を検討しているのは間違いない」と述べたことへのヘッドラインを受け、一時105.75まで下落した。その後は下げ渋るも戻りも鈍く、105.78で海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン市場ドル円は下落した。105.78でオープン。アジア時間の黒田日銀総裁の発言「2019年度に物価目標達成なら出口検討」やトランプ米大統領のツイート「貿易戦争は良い、簡単に勝てる」等の発言に貿易摩擦が懸念され今年の安値105.55を下抜けロンドン時間安値105.25をつけ、105.38でニューヨークに渡った。ポンドドルは全般的なドル売りに押し上げられた。1.3777でオープン。前日トランプ米大統領が鉄鋼輸入に25%、アルミに10%の関税を課す方針を示していたことに加え、上述のトランプ米大統領の発言が加わり貿易摩擦懸念が更に強まりドルが売られポンドを支えた。午後のメイ首相の欧州との関係を示す演説を待ちながら1.3787でニューヨークへ渡った。
ニューヨーク	ドル円は105.38でNYオープン。オープン後も海外時間の流れを引き継ぎ下値模索の展開となるなか、日中安値105.24まで下落。しかし、その後は米金利上昇を横目にドル安が一服し、105.50に回復。米株が寄り付き後大幅安となったことから105.29まで下落したものの、ダウが下げ幅を縮小する動きや米金利が昨日の下げ幅を全て回復する動きを横目にドル円も105.68まで上昇。引けにかけて米株が更に下げ幅を縮小したことから、105.78まで回復し、105.74でクローズ。なお、ロス商務長官は「鉄鋼・アルミ関税方針について」「(自分が提示した複数の選択肢のうちトランプ大統領は全ての国の全製品に幅広く関税を賦課する措置を選択した)」と発言。「EUは対抗措置の一環として米国からの輸入に関税をかける際の対象品物のリストを作成」と報じられているほか、EU関係筋の話として、「米国が輸入制限を発動させれば、約35億ドルにのぼる米国からの輸入に25%の関税をかけることを検討している」と報じられた。ユーロドルは1.2309でオープン後、週末を控え1.2320近辺でのレンジ推移に終始し、1.2319でクローズ。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様自身の判断でなされるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当:矢野・坂本